

## メトロ 中野新橋駅

# 上下階段合わせたの、早期エスカレーター設置を要望!

近隣住民・地元10町会と中野新橋商店街が、約1500名の連名でメトロと中野区長に提出

東京メトロ・中野新橋駅のバリアフリー化に関して、地元10町会と中野新橋商店街が連名で7月26日、東京地下鉄株式会社と田中大輔中野区長におよそ1500名の署名を集めた要望書を手渡した。

これまで東京メトロ側は中野新橋駅のバリアフリー化について

エスカレーター設置の方向で平成19年設計、20年着工を現在検討中。しかし、階段幅の関係から上部階段(4.1m幅)に設置し、下部階段上(2.9m幅)には設置不可能と回答してきたが、要望書は「中野新橋駅だけがバリアフリー化が

遅れている現状を踏まえ、上部階段のみのエスカレーターの設置ではまったく意味がなく、上下階段合わせたの早期エスカレーターの設置を強く要望する」としている。

佐野れいじ区議が東京メトロ本社に訪れた際(6月18日)、今年9月～10月の間に駅舎のリニューアル、バリアフリー設備について概略を伝えられるのではないかと回答を得ているが、7月26日要望書を受け取った東京メトロの肥後広報部長は、「上下階段合わせたのエスカレーター設

置の検討に少し時間がかかるかも知れないが、要望に添えるよう10月上旬までに結論を出したい」と述べた。今回の要望が受け入れられるかどうか注目される。

なお、要望書提出者は、弥一向台町会長、弥生町一丁目東町会長、弥生二丁目町会長、東郷町会長、朝日が丘町会長、本一相生町会長、千代田町会長、神明本三町会長、弥生町三丁目町会長、道玄町会長、中新商店街振興組合理事長の各氏。



地元の代表として要望書をメトロに提出する  
弥生地区町会連合会、金子会長(右側)

平成20年3月31日をもって

## 小学校3校、中学校2校の廃止決まる

7月4日に閉会した中野区の第2回定例会で、桃園第三小学校などの廃止が正式に決まった。

これは中野区立小中学校再編計画に基づくもので、平成20年3月31日を



改修中の桃園第三小学校

もって桃園第三小学校、仲町小学校および桃丘

小学校を廃止し、桃花(とうか)小学校を新設する(同年4月1日開校)。新校舎は現在施設を改修している桃園第三小学校。

仲町小学校は、(仮称)総合公共サービスセンター(中央部)と精神障害者社会復帰センター、地域スポーツクラブの活動拠点として活用。桃丘小学

校は、新しい産業関連施設、文化芸術の活動拠点等として活用。

また、第六中学校および第十一中学校を廃止し(20年3月31日)、緑野(みどりの)中学校を新設する(同年4月1日開校)。新校舎は第十一中学校。第六中学校は、野方小学校の仮校舎として一時活用の予定。